



「たくましく、しなやかに生き抜く力」を育む 福島市立大笹生小学校

本校は「知・徳・体の調和のとれた人間の育成」を学校経営の基本としています。至誠の教えのもと「楽しく、厳しく、温かい学校」をめざす学校像として、教育目標の具現化に努めてまいります。子どもたちには「思いやり・親切」「勤勉・努力」「生命尊重」の心を重んじ、自分に自信をもち、他者との関わり合いの中で学び合い、夢や目標に向かってたくましく生きてほしいと願っています（向上心と自己有用感の育成）。
そのために、私たちは『確かな教育力を持つ教職員組織（チーム大笹生）』を目指し、保護者・地域の皆様と力を合わせ、自律と協働により教育活動の充実を図ってまいります。

【児童の願い】

- 楽しい学校・学級であってほしい。
- よく分かる、よくできるようになりたい。
- 友達と仲良く過ごし、助け合いたい。

【教職員の願い】

- 夢と目標に向かってしなやかにチャレンジし続ける子になってほしい。
- 物事を正しく判断し、よりよい方向に行動できる子になってほしい。
- 進んで考えを伝え、学び合って、考えを高める子になってほしい。
- 心身ともに健康で自分を振り返り、自分に自信をもち、友達の良さも認め合える、自己有用感が高い子になってほしい。

【めざす学校像】

楽しく、厳しく、温かい学校

【児童の実態】

- 素直で思いやりがある。
- 何事にも真面目に取り組み、係活動や清掃を行っている。
- 進んで活動することを苦手としている子どもが多い。

【地域の願い】

- あいさつのできる子どもを育ててほしい。
- 地域のよさを生かした教育をしてほしい。
- 安全に登下校できる環境づくりを進めてほしい。

【保護者の願い】

- 向上心の高い子になってほしい。
- 自分の思いを伝え合える子になってほしい。
- 勉強ができるようになってほしい。
- 自分から進んで行動できる子になってほしい。

【身につけさせたい資質・能力】

- 人、もの、こと、社会と適切にかかわる力
- たくましく、しなやかに生き抜く力

－ 教育 目 標 －

「至誠」を校訓として、自ら学び、心豊かにたくましく生きる 大笹生の子どもを育てる。
＜進んで伝える子ども＞ ＜進んで関わる子ども＞ ＜進んで鍛える子ども＞

【めざす教職員像】

- ◎ 学び合う教師集団、質の高い教職員集団
- 互いのよさを最大限に出し合う教職員集団
- 根底となる教育愛のある教職員
- 教育のプロとしての専門性のある教師
- 社会人としての常識がある教職員

【めざす児童像】

＜進んで伝える子ども＞

- 自分のよさを生かし、学び合う楽しさを実感しながら、進んで学習に取り組む子ども

＜進んで関わる子ども＞

- 相手の思いを大切にして、感謝の心で人や環境と関わりながら、自分のよさを自覚し、夢や目標がもてる子ども

＜進んで鍛える子ども＞

- 運動に親しみ、健康・安全に気を付け、自分の目標に向かって粘り強く取り組む子ども

重点目標：「気づく 考える 実行する そして振り返る」子どもの育成

＜ 進んで伝える子ども ＞	＜ 進んで関わる子ども ＞	＜ 進んで鍛える子ども ＞
◎ 学んだことを活用して解決する学び方を身に付け、知的好奇心を持って進んで学習する子どもを育てます。 ◎ 話をよく聴き合い、自分の意見や考えを伝え合ったり、学習を振り返ったりできる子どもを育てます。	◎ 他者との関わりの中で、自分を振り返りながら、自分の存在を価値あるものとして受け止め、夢や目標がもてる子どもを育てます。 ◎ 相手の考えや気持ちに思いを寄せながら、みんなのために進んで行動することができる子どもを育てます。	◎ 命を大切にするために、考え・判断する力を育て、健康で安全な生活を送ることができる子どもを育てます。 ◎ 進んで運動に親しみ、自己の課題の解決に向けて、継続的に取り組む子どもを育てます。
○ 「身に付けさせたい力」を明確にし、学んだことをもとに課題を解決する問題解決学習の楽しさを実感させる。【現職教育部、学力向上、担任】 → 問題解決学習 言語活動を意識した単元構成の工夫 - 生活科・総合的な学習の時間（横断的な学び、地域教材・人材バンク等の活用） - 学力テストの分析と対応 教科横断的な学習 - ふくしま活用力育成シートの活用 ○ 学習意欲の向上と学習内容の定着のために、「分けることができる授業（UD）」をめざし、「課題把握・見通し・共有」「読解力」の指導を重視した授業をする。【現職教育部、担任】 → 課題やめあての提示、知的好奇心を喚起する教材研究、学習の見通しの場の設定、考えの共有の場の設定、RSTの活用、授業スタンダードの活用、TT指導や少人数指導 ○ 学校・家庭において、よりよい学習習慣を身に付けさせる。【学力向上、担任】 → 家庭学習の約束、家庭学習カードの活用 - 家庭学習スタンダードの活用 読書の習慣化（親子読書・家読） ICT機器の活用 - 基本的な学習習慣の育成（学習用具の準備・あいさつ・整理整頓）	○ 道徳科や学級活動、生活科や総合的な学習の時間を通して、これまでの自分を振り返りながら、生き方を考え、夢や目標をもたせる。【道徳部、担任】 → 道徳科 総合的な学習の時間 生活科 - 外部講師の招聘・体験活動 - 学級活動(3)によるキャリア教育の充実 ○ 教育活動を通して、自分を振り返る場を意図的に設定したり、教師が意味付け・価値付け（子どもたちに、行動のよさに気づかせること）をしたりして、自他のよさを認め合えるようにする。【各教科部、特別活動部、学校行事部、担任】 → 振り返りの場の設定 教師の意図的な働きかけ ○ 子どもの考えを生かした学校行事や集会活動、児童会活動・学級活動を通して主体性を育てる（クラスワゴン）。【特別活動部、学校行事部、担任】 → 児童会活動 学校行事 学級活動 - 集会活動・大笹生タイム等縦割り班活動	○ 安全に生活したり、登下校したりするために、安全・防犯などの行事を通して、考えさせる場面を設定し、知識を身に付けさせ正しく判断できる力を育てる。【学校行事部、安全部、担任】 → 避難訓練や交通教室などの健康安全・体育的行事の充実 登校班活動 ○ 日常の継続的な指導や学級活動等を通して、自分を振り返りながら、基本的生活習慣に関する意識を高める（早寝早起き朝ご飯 あいさつ）。【保健指導部、体育部、特別活動部、清掃部、担任】 → 保健指導の充実 健康の記録や自分手帳の活用 - 通信を通じた保護者への啓発 学級活動(2) - 朝の会や帰りの会での振り返り 清掃指導 ○ 体育科や学級活動等を通して、心身の健康の保持・増進、食に関する指導を充実させる。【体育部、保健指導部、特別活動、担任】 → 体育科の授業の充実 学級活動(2) - 学校保健委員会 外部講師の招聘や養護教諭とのT・Tの授業の充実 感染症対策の徹底
○ 国語科を礎として、聴き方、話し方を身に付けさせ、自分の考えを誰とでも伝え合える力を育てる。【現職教育部、担任】 → 「学習の約束」の活用 - 学年の系統を考えた聴き方・話し方の指導 - 各教科・特別活動等での言語活動の充実 ○ 学んだことを活用して自分の考えをもち、思考を可視化する手立てを身に付け、表現する喜びを味わわせる。【現職教育部、担任】 → 話し合いの場の工夫 - 思考の可視化（板書、ICT機器の活用、ノート、思考ツール 条件作文等） ○ 学んだことを振り返り、自分の考えの深まりや学び合ったことのよさを実感させる。【現職教育部、担任】 → 振り返りの場の設定（自分の変容の振り返り・学び合う・伝え合う良さの実感） （板書、ICT機器の活用、ノート等） ※情報モラルの指導	○ 自分の思いを伝え、相手の気持ちを大切にする学級づくりに努める。【生徒指導部、担任】 → 生徒指導の機能を生かした授業 学級活動 - 教育相談の充実 Q-Uテストの分析と対応 ○ 道徳教育や学級活動で重点内容を設定し、教育活動を通して人権意識を高めたり、みんなのために協力し、助け合ったりする態度を育てる。【道徳科、学級活動部、学校行事部、担任】 → 道徳科 係活動の充実 勤労・奉仕的な活動 - 放射線教育や感染症対策との関わり ○ 異年齢の集団活動や交流活動を通じた人や環境との関わりの中で、互いのよさを認め合わせたり、地域のよさを味わわせたりする。【大笹生タイム（縦割りの班活動部）、生活部、総合部・特別活動部・担任】 → 学級活動 異年齢集団活動の充実 - 交流学習（大笹生支援学校・生愛会等） - 生活科 総合的な学習の時間 クラブ活動 - 児童会活動	○ 生涯にわたって健康に生活するために、運動の楽しさを実感させ、継続的に運動に親しむ態度を育てる。【体育部、学校行事、児童会、担任】 → 体育科の授業の充実 学習カードの活用 - 楽しく遊ぶための環境づくり - 時季に応じた業間活動 児童会集会活動 - 健康安全・体育的行事 ○ 体育科の授業や業間活動を通して、体を動かす楽しさを味わわせ、体力や技能、判断力を身に付けさせる。【体育部、担任】 → 体育科の授業の充実 学習カードの活用 - 運動身体づくりプログラムの継続指導 - 新体力テストの分析と対応 - 時季に応じた業間活動 ○ 自分が立てた目標を振り返らせる場を設け、目標達成に向かって粘り強く取り組ませる。【体育部、学級活動、担任】 → 課題意識を高めるための学習カードと自分手帳の活用 体育科の授業の充実 - 学級活動(2) 時季に合わせた業間活動

「ふるさと大笹生」を愛する子ども

【家庭との連携】

- 家庭学習の重要性を理解し、子どもとの語らいを大切にする保護者
- 言行一致を常とし、家庭や地域にあって、子どものお手本となるように努める保護者
- PTA等の組織の一員として、協力して活動し、人とのつながりを大切にする保護者